

事業所名 学校法人星野学園 児童発達支援こぼる 支援プログラム 作成日 2025 年 6 月 1 日

法人（事業所）理念		お子様一人ひとりの発達段階や特性を把握し、自分らしく集団生活を送るために、自己肯定感や学ぶ楽しさを経験できる支援を行います。 大きくなった時（小学校、中学校、高校、就労）を見据えて、今できることを探していきます。 保護者様の気持ちに寄り添い、安心して療育を受けられる環境を作ります。			
支援方針		法人内で連携ができる強みを生かすと共に、地域とも連携し、一人ひとりの発達段階や特性を深く理解することに努めます。 いつでもどこでもだれとでも人との関わりを楽しめるように、お子様の思いに寄り添った支援を行い、安心して生活を送れるようにします。			
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで		送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	利用時間中お子様の健康観察を行い、平常と違う様子が見られる場合は、必要な対応を行います。 様々な遊びを通して安全にいろいろな経験ができるよう環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすくします。			
	運動・感覚	五感(視覚、聴覚、触覚、嗅覚)、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 粗大運動から微細運動まで、お子様の特性に合わせてプログラムを考えていきます。			
	認知・行動	見る・聞く・触れるなど様々な経験を通して、認知機能の発達を促し、興味の幅を広げていきます。 物の名前や使い方、形、色、音、大小、数、重さ、空間、時間等の様々な概念に触れる活動を取り入れます。			
	言語 コミュニケーション	言葉や文字・絵カード等を用いて、相手の気持ちを理解できるような支援を行います。 自分の気持ちを伝え、「伝わった」という喜びを経験することで、自分の思いを伝えたいという意欲・コミュニケーションにつなげます。			
	人間関係 社会性	好きな遊びを通して、他者と楽しい気持ちを共有することで、信頼関係を築く土台づくりに努めます。 ルールを説明し、スモールステップでルールに沿って遊ぶ経験をできるようにします。			
家族支援		保護者様の気持ちに寄り添い、面談や連絡帳等を活用して、安心して療育を受けられる環境を作ります。きょうだい児についても、心配なこと相談などで支援を行います。		移行支援	就学相談や、就学先との連携を行います。
地域支援・地域連携		法人内・地域の施設、相談支援事業所などと連携して情報共有に努めます。		職員の質の向上	月に1回の研修や、日々のOJTを通して、専門的知識・技能の向上に努めます。
主な行事等		季節に応じた活動を取り入れます。			